高柳地区コミュニティ通信
（新春増刊号）

第 101 号 【発行 令和６年1月20日】
高柳地区コミュニティ振興協議会
〒945－1595
柏崎市高柳町岡野町 1849-1
TEL＆FAX：41－2234
E-mail:c-takayanagi@kashiwazaki-cc.net

「〆縄づくり体験教室」

昨年１２月６日に、高柳小学校で児童５名と教職員で『〆縄づくり体験教室』を行い、講師の「新潟県なりわいの匠」に認定されている大橋チエ子様、大橋明美様（落合）から教わりました。

子ども達は毎年作ってきたことから、いつも通り慣れた手つきで自分だけの〆縄を作りあげました。

地域の方から学ぶ伝統行事の１つでもあり子ども達には貴重な経験であったかと思いますが、高柳小学校閉校のため残念ですが今回が最後になってしまいました。今後、子ども達の記憶の中に残っていて欲しいと願うばかりです。

「元朝体操会」賑やかに開催される。

１月１日午前８時から元朝体操会が、コミセンで行われました。当日は地元の小学生や高校生を含めて１５人が集まり、会場いっぱいに手足を伸ばしラジオ体操第１と第２を行い辰年のスタートをいたしました。

また、今年は最近話題のニュースポーツ「モルック」を行い、参加者全員には体育協会の村田会長より参加賞が手渡されました。

歳末たすけあい募金助成事業

寝って憩って健康づくり

地区連合会＆高柳地区
ｺﾐｭﾆﾃｨタイアップ企画

じょんのび村に集まって、温泉につかったり、美味しいご飯を食べながら寸劇やマジックショーを見たり、お友達とおしゃべりに花をさかせたり…たまにはのんびり過ごしましょう。

- 日　時　令和６年２月２９日（木）午前１１時００～午後3時００まで
- 会　場　じょんのび村（萬歳楽）
- 参加費　１，０００円（昼食代・温泉代・送迎代込み）
- 対　象　高柳地区在住の６５歳以上の方
- 定　員　３０名（※先着順）
- 申込み　令和６年２月２１日（水）までにコミュニティへ

※詳しい事は案内チラシを見てね。

年頭にあたり

高柳地区ｺﾐｭﾆﾃｨ振興協議会
会　長　　田　辺　正　通

皆様、新年あけましておめでとうございます。

１月５日に計画しておりました「高柳町賀詞交換会」につきましては、１月１日に発生した能登半島地震により中止させていただきました。そこで、この紙面をもって皆様にご挨拶させていただきます。

●JA 食味コンテストで関矢さんが最優秀賞

昨年を振り返りますと異常気象ともいえる夏の猛暑と少雨の水不足で、当地区でも農作物には大きな被害が出ました。

そんな中で、JA えちご中越「愛菜館」で開催された「柏崎産コシヒカリ」食味コンテストで高尾の関矢光孝さんが最優秀賞を獲得しました。

この結果は関矢さんの努力の賜物であることは間違いないわけでありますが、猛暑の中でも高柳の米は美味しいということが証明された、誠に喜ばしいニュースでした。

●石黒地域に地域おこし協力隊の加藤さんが着任

９月に石黒地区に地域おこし協力隊の加藤夕恵さんが着任しました。

加藤さんは先ずは石黒地域や高柳のことを勉強したいとおっしゃっていて、コミセンの事業や地域のグループ活動にも参加するなど積極的に活動され、頼もしい限りです。これからの活躍を期待しております。

●高柳保育園が３月に閉園

高柳保育園は２年前から休園しておりましたが、今年３月末をもって閉園することが決まりました。

閉園することによるいくつかの課題の中で取り組んできたことは、保育園バスには３歳以上しか乗れないため３歳未満の乳幼児は保護者が鯖石保育園まで送迎しなければなりません。それは保護者にとってはかなりの負担です。そこで子育てのお手伝いをしてほしい方（依頼者）と、子育てのお手伝いをしてくださる方（提供者）がお互いに助け合う仕組みや組織を立ち上げようと関係する皆さんが協議を重ねています。地域全体で協力しながら子供を育てる仕組みが実現することを願っています。

●高柳小学校が３月に閉校

高柳小学校は保護者の皆さんと地域が一体となって存続を模索してきましたが、それも叶わず今年の４月から鯖石小学校と統合することとなり３月末をもって閉校します。

小学校の統合で課題となったのはスクールバスの運行経路についてです。現在高柳小学校では、一日の授業が終了すると何人かは放課後、こども自然王国へ行っています。これは黒姫こーたん号の６・７便が高柳小学校からこども自然王国経由で運行しているおかげです。そこで今までのように４月からも鯖石小学校から下校時のスクールバスがこども自然王国を経由してもらえるように市に要望をしているところです。

こども自然王国には児童厚生員という遊びや学習の場を提供し児童に自主性や社会性を育むためのサポートをしてくれる専門の職員がおりますので、その利点をこれからも生かしていきたいと思っています。

●くらしのサポートセンター和（なごみ）

くらしのサポートセンター和は、高齢者の皆さんがこの高柳町でいつまでも生き生きとした生活を送ることを応援する場です。

現在、約１００名の方からご利用いただき茶話会や趣味活動などで楽しく和やかに活動しています。まだ参加されたことがない方は是非、ご参加ください。たくさんの「高齢者」ではなく幸せに暮らす「幸齢者」が多い地域になればと思っています。

高柳地区コミュニティ振興協議会は「住民の暮らしやすさ」を目指してこれからも活動して行きたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈りします。

併せて、高柳地域の益々の発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年の挨拶

高柳町地区連合会
会長　大倉 正大

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆様にはよき新春を迎えられたことと思います。日頃より高柳町地区連合会の運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナの影響で昨年まで４年間もいろいろな行事を自粛せざるを得ず皆様方にはご不便をおかけしましたが、昨年より５類になり社会の動きも活発化してきました。制限をせざるを得なかった活動がいよいよ動き出したと感じることが多くなってきました。

しかし、１月１日に石川県能登半島でM7.6・最大震度７の大地震が発生し大火災も発生しました。新潟県も新潟西区で大きな災害となっています。今も強い地震が続く中、住宅に取り残された住民の救助が続けられています。早い復興といつもの暮らしが取り戻せる様に心からお祈り申し上げます。

地域活動は、皆様がご健康でお過ごしいただいていることが、大前提となります。高柳地区も少子高齢化が一段と進んでいますが、皆様が安心して暮らせる高柳であり続けますように、地域一丸となって助け合いの精神で支え合いながら地域を守って行きましょう。

高柳町地区連合会も、高柳コミセンと協議しながら周囲の状況を見ながら出来るだけ諸行事の活動再開を目指しますので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。今、起きている変化に対応できるように、高柳19集落の会長さんと連携して進めて参ります。

高柳小学校は３月で閉校になりますが、高柳地区には先人が残してくれたじょんのび村、こども自然王国、名勝貞観園と集客できる宝があります。地域が生き残るためにも地域で盛り上げ、自身も楽しむ心をもって応援していきたいと思います。

最後に、今年の辰年とは「活動的で行動力があり、人との出会いもある。」と言われています。新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

明けましておめでとうございます

柏崎市市議会議員
山　﨑　智　仁

謹んで新春をお祝い申し上げます。

はじめに、元旦から地震にみまわれ、被災された方々が一刻も早く日常を取り戻せるようお祈り申し上げます。

さて、昨年５月には、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、各地で多くのイベントが再開されるなど、地域にもようやく賑わいが戻ってまいりました。人と人が顔をあわせ、笑い合えることの大切さに気付かされます。

一方、少子高齢化、人口減少の影響から、路線バスの減少や今年は高柳小学校の統合、高柳保育園の閉園など寂しい話題もあります。そんな中でも高齢の方を適切な医療や福祉に繋ぐために奔走していただいたり、子供達を健やかに育てて行ける環境づくりに尽力されている方々の姿には、高柳地域の未来を感じることができます。

また、農林業や商工業においても、気候変動や資材高騰などの影響を少なからず受けています。これらの事象に「個」の力で立ち向かうのは難しいですが、まず、それぞれの問題を共有し、現状を見据えてそれぞれができることを持ち寄って「協働」の力で前向きに日々を積み重ねることが大切だと考えています。

高柳には「単純な対立とは違うところでお互いを知り、寄り添い合える」心が残っています。地域を守るには、まず自分が健康でいること、周りに寄り添うこと、現在を俯瞰して観ることが重要だと考えます。10年前と同じ暮らしはできません。10年後も同じ暮らしはできないと思います。しかし、それぞれの役割を担い、課題を共有して一緒に考えながら歩んでいけたら今の暮らしが前向きになるのではないでしょうか。

皆様にとりましてこの一年が穏やかで活力に溢れたものになりますよう祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

こんにちは！くらしのサポートセンター和です！

令和５年度は、開所 10 周年を迎えた節目の年でした。

コロナ規制も緩和され平常の〝和〟に戻りました。毎日楽しく話して笑って、体操してレクして忙しく過ごしております。「私も参加したいなぁ。」と思った方は、お声掛け下さい。お待ちしていまーす！

お問合せ先 ☎43-2588　担当：石塚、関矢まで

＜桜花見散歩（荻ノ島）＞

＜貞観園見学（岡野町）＞

＜10 周年祝弁当（石黒）＞

＜ミニミニ運動会（岡田）＞

＜お達者教室（門出）＞

＊＊＊自主防災だより＊＊＊

＜ 防災講演会 ＞

防災講演会

１０月１８日に、NPO 地域活動サポートセンター柏崎の渡邉防災士を講師にお迎えし、「東日本大震災原子力災害からの避難について」の防災講演会を行いました。

渡邉防災士は、東日本大震災で被災され、震災当時の現場やどういう行動をとったか？何に困ったか？など、今後起こりうるかもしれない災害への備えについて学びました。

防災訓練

１０月２２日に、豪雨災害を想定した防災訓練を行いました。例年通り各地区防災委員からの画像を使っての状況報告など情報伝達訓練から始まり、災害備品の点検や試運転を行いました。

今月能登半島地震が発生しました。これまでも災害時には各町内会長と連絡を取り被害状況の確認をしてきました。これからも皆さまのご協力を何卒お願い申し上げます。

＜ 防災訓練 ＞

防災研修会

１１月１８日に、自主防災研修会を行いました。

高柳地区は原子力災害発生時、避難経路の中継地点となる「大島就業改善センター」（大島地区公民館）を、上越市大島区総合事務所職員の方から案内していただき施設内外を見学しました。参加された方は、駐車所の広さなど実際に避難となった場合を想定し意見を交わされていました。

その他、上越市「地滑り資料館」では、土砂災害やなだれについて妙高砂防事務所職員の方から説明を受けました。

＜ 地滑り資料館 ＞